

子供輝く
@TOKYO

子供輝く@学校プロジェクト

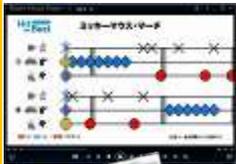
新しい文化祭のかたちを。
創作ポディパーカッション



課題曲のパフォーマンスは、クラス担任も加わって♪



コロナ禍の文化祭は、いつものように大きな口を開けて歌う「合唱」が行えないため、手や足、体の動きを使って表現する「ポディパーカッション」で音楽を作りあげました。音の強弱や振り付け、フォーメーションの変化など、各クラスで工夫を凝らし、心を合わせた素晴らしい演奏を披露しました。



●撮影した動画を見ながら、クラスで改善点を話し合いました。



●密を避けるため、出番までは別室で中継視聴しました。



●休み時間には自然発生的にあちこちで練習が始まりました。

決まった形がなくて、自分達でやり方を決めるのはとても難しかったけれど、自由にできてとても楽しかった。

合唱と違い、決まった音程しか使えないのに、強弱やたたく場所や全体の動きなどで色々な見せ方ができ、人を感動させることができるのがすごいと思った。

この文化祭は学校として、いろいろな所で自慢できると思った。(3年女子)



今年は「文化祭はできないかもな」と思っていたから、ポディパーカッションという形でやることができ、すごく嬉しかった。みんなの演奏を見るのも、自分でやるのもすごく楽しかった。

(3年女子)

なかなか全員がそろわず、みんなで練習する時間が少なくて不安もありましたが、オンラインでつながった画面越しから、みんなの頑張りが伝わってきて、私も頑張ろうと思えました。振り付けが作れなかったり、合わせ練習も1日ほどしかできなかつたりしましたが、その1日を大切に協力して演奏しました。最後の文化祭、卒業しても忘れません。(3年男子)

